

平成 22 年 10 月 9 日

受益者のみなさまへ

三菱UFJ投信株式会社

**「三菱UFJ 資産設計ファンド(分配型/バランス型/株式重視型)」(愛称「地球ゴマ」)
における指定投資信託証券の変更・追加について**

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は弊社の投資信託に格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、表題のファンドは、各指定投資信託証券への投資を通じてさまざまな資産クラスに投資を行うファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行っております。

この度、投資対象とする投資信託証券(指定投資信託証券)に関する約款変更を下記のとおり行いましたので、お知らせ申し上げます。

なお、このお知らせに関しまして、受益者のみなさまのお手続きは不要です。

今後とも弊社投資信託をご愛顧の程、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 指定投資信託証券の変更

指定投資信託証券の運用会社であるモルガン・スタンレー・アセット・マネジメント投信株式会社はモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・グループのグローバルな事業再編の一環として、一部事業をインベスコ投信投資顧問株式会社に譲渡しました。これに伴い、平成 22 年 7 月 5 日より指定投資信託証券のモルガン・スタンレー・グローバル・ハイ・イールド・ファンド F (適格機関投資家専用) は、インベスコ投信投資顧問を運用会社として運用が継続されることとなり、指定投資信託証券の名称は、以下のとおり変更となりました。本件変更を投資信託約款に反映いたしました。

変更となった指定投資信託証券(資産クラス:ハイイールド債券):

| 変更前 | 変更後 |
|--|---|
| (指定投資信託証券の名称) モルガン・スタンレー・グローバル・ハイ・イールド・ ファンド F (適格機関投資家専用) | (指定投資信託証券の名称) インベスコ グローバル・ハイ・イールド・ ファンド F (適格機関投資家専用) |
| (運用会社) モルガン・スタンレー・アセット・マネジメント投信 | (運用会社) インベスコ投信投資顧問 |

変更した約款の該当箇所につきましては、別紙「投資信託約款の新旧対照表」をご参照ください。

2. 指定投資信託証券の追加

ファンドの投資助言会社である三菱アセット・ブレインズ株式会社の投資助言をもとに、運用成果の向上をめざし、以下の指定投資信託証券を投資対象に新たに追加いたしました。

指定投資信託証券を追加した資産クラス：絶対収益追求型運用

追加する指定投資信託証券の概要：

- ・名称 **グローバル・アセット・モデル・ファンドF(適格機関投資家専用)**
- ・運用会社 **野村アセットマネジメント株式会社**
- ・設定日 平成 18 年 7 月 25 日
- ・基本方針 この投資信託は、日本円の短期金利水準を上回る収益の獲得を目指して積極的な運用を行なうことを基本とします。

追加する指定投資信託証券の詳細につきましては、別紙「指定投資信託証券の概要」をご参照ください。

3. 約款変更日：平成 22 年 10 月 9 日

4. 指定投資信託証券および運用会社一覧

本件、約款変更後の指定投資信託証券および運用会社の一覧は、以下のとおりです。

| 資産 | 資産クラス | 指定投資信託証券 | 運用会社 |
|-----------|---|--|---|
| 株式 | 日本株式 | T&DアクティブバリューFOF's用(適格機関投資家専用) | T&Dアセットマネジメント |
| | | 三菱UFJ日本株スタイルミックス・ファンドF(適格機関投資家限定) | 三菱UFJ投信 |
| | | ストラテジック・バリュー・オープンF(適格機関投資家専用) | 野村アセットマネジメント |
| | 海外株式 | ING・グローバル高配当株式ファンドFD(適格機関投資家専用) | アイエヌジー投信 |
| | | JPM海外株式・ダイナミック・ファンドF(適格機関投資家専用) | JPMオルガン・アセット・マネジメント |
| | | MFS外国株グロース・ファンドF(適格機関投資家専用) | エムエフエス・インベストメント・マネジメント |
| エマージング株式 | シュローダー・グローバル・エマージング株式ファンドF(適格機関投資家専用) | シュローダー証券投信投資顧問 | |
| | バインブリッジ新成長国株式ファンドFOFs専用(適格機関投資家専用) | バインブリッジ・インベストメンツ | |
| 債券 | 日本債券 | 三菱UFJ日本債券ファンドF(適格機関投資家限定) | 三菱UFJ投信 |
| | | ノムラ日本債券オープンF(適格機関投資家専用) | 野村アセットマネジメント |
| | 海外債券 | LM・グローバル・ボンド・ファンド(適格機関投資家専用) | レグ・メイソン・アセット・マネジメント |
| | | ゴールドマン・サックス 計量海外債券ファンド(適格機関投資家専用) | ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント |
| | | アライアンス・バーンスタイン・エマージング市場債券ファンドB(適格機関投資家専用) | アライアンス・バーンスタイン |
| エマージング債券 | ウエリントン・マネージメント・ポートフォリオ(ケイマン) エマージング・マーケット・デット・ポートフォリオ(適格機関投資家限定) | ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー | |
| ハイールド債券 | インベスコ グローバル・ハイ・イールド・ファンドF(適格機関投資家専用) | インベスコ投信投資顧問 | |
| オルタナティブ資産 | 不動産投資信託 | ワールド・リート・マザーファンド | 三菱UFJ投信 (シービー・リチャードエリス・グローバル・リアルエステート・セキュリティーズ・エルエルシー) |
| | | MUAM G-REITマザーファンド | 三菱UFJ投信 |
| | 絶対収益追求型運用 | ゴールドマン・サックス GTAAファンド(適格機関投資家専用) | ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント |
| | | 適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・通貨戦略ファンド(FOFs専用) グローバル・アセット・モデル・ファンドF(適格機関投資家専用) | アライアンス・バーンスタイン 野村アセットマネジメント株式会社 |

運用会社名()書きは、再委託会社名です。

上図に掲げる全ての指定投資信託証券に投資を行うとは限りません。

今後、上記の記載内容が変更となる場合、または繰上償還等により除外される場合、あるいはここに記載されたもの以外の指定投資信託証券が新たに追加となる場合があります。

以上

・ 本件に関するお問い合わせ

三菱UFJ投信 お客さま専用フリーダイヤル 0120-151034

(受付時間：土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く9:00～17:00)

・ お客さまの個別のお取引内容についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社の支店へお問い合わせください。

【投資信託約款の新旧対照表】

三菱UFJ 資産設計ファンド（分配型）
 三菱UFJ 資産設計ファンド（バランス型）
 三菱UFJ 資産設計ファンド（株式重視型）

| 変更前（旧） | 変更後（新） |
|--|--|
| （付表） 3．約款第17条第1項に規定する「別に定める投資信託証券」とは次のものをいいます。 （略） 追加型証券投資信託 [<u>モルガン・スタンレー・グローバル・ハイ・イールド・ファンド</u> F（適格機関投資家専用）] （略） | （付表） 3．約款第17条第1項に規定する「別に定める投資信託証券」とは次のものをいいます。 （略） 追加型証券投資信託 [<u>インベスコ</u> グローバル・ハイ・イールド・ファンド F（適格機関投資家専用）] （略） 追加型証券投資信託 [<u>グローバル・アセット・モデル・ファンド</u> F（適格機関投資家専用）] |

【指定投資信託証券の概要】

| | |
|--------------|---|
| ファンド名 | グローバル・アセット・モデル・ファンド F（適格機関投資家専用） |
| 形態 | 証券投資信託 |
| 設定日 | 平成18年7月25日 |
| 信託期間 | 無期限 |
| 基本方針 | この投資信託は、日本円の短期金利水準を上回る収益の獲得を目指して積極的な運用を行なうことを基本とします。 |
| 投資対象 | グローバル・アセット・モデル・ファンド マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。なお、短期有価証券等に直接投資する場合があります。 |
| 投資態度 | マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。 資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合があります。 |
| マザーファンドの投資態度 | この投資信託は、主として内外の短期有価証券に投資し安定した収益の確保を目指すとともに、世界主要国の株価指数先物取引、債券先物取引等の有価証券先物取引等および為替予約取引等の積極的な活用により日本円の短期金利水準を上回る収益の獲得を目指して積極的な運用を行なうことを基本とします。 有価証券先物取引等および為替予約取引等の活用に当たっては、Global Tactical Asset Allocation（グローバルな戦術的資産配分。GTAA）モデル及びTactical Currency Allocation（戦術的通貨配分。TCA）モデルに基づき、市場データの精緻な分析により、推定される均衡水準から時価が乖離している資産・通貨に係るデリバティブ |

| | |
|-----------|---|
| | <p>等を売買し、時価が均衡水準に収斂する過程での収益を獲得することを目指します。</p> <p>(注)Global Tactical Asset Allocation(GTAA)モデル及びTactical Currency Allocation(TCA)モデルは、ファースト・クオドラント社の開発した運用モデルです。</p> <p>資産配分については、世界主要国の株式・債券市場の中から流動性が高いと判断される市場を対象に、均衡水準より割安と判断される資産に係る有価証券先物取引等の買い建てによるロング・ポジションを、均衡水準より割高と判断される資産に係る有価証券先物取引等の売り建てによるショート・ポジションを構築し、収益の獲得を目指すことを基本とします。</p> <p>通貨配分については、資産配分とは独立した通貨配分戦略により為替予約取引等を積極的に活用し、外貨建資産の為替変動リスクを回避する目的(ヘッジ目的。代替ヘッジを含みます。)のほか、効率的に収益を追求する目的(ヘッジ目的外)で活用し、均衡水準より割高と判断される通貨は当該通貨のヘッジ目的外での売予約によるショート・ポジションを構築し、均衡水準より割安と判断される通貨については買予約等によるロング・ポジションを構築することを基本とします。なお、為替予約取引等のヘッジ目的外での使用については、買予約の合計額と売予約の合計額との差額につき円換算した額は信託財産の純資産総額の100%以内とします。</p> <p>資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合があります。</p> |
| ベンチマーク | 1ヵ月円 LIBOR |
| 主な投資制限 | <p>外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。</p> <p>デリバティブの利用はヘッジ目的に限定しません。</p> <p>外国為替予約取引はヘッジ目的に限定しません。</p> <p>株式への実質投資割合には制限を設けません。</p> <p>同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。</p> <p>同一銘柄の転換社債ならびに転換社債型新株予約権付社債への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。</p> <p>投資信託証券への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。</p> |
| ファンドの関係法人 | <p>委託会社：野村アセットマネジメント株式会社</p> <p>受託会社：野村信託銀行株式会社</p> |
| 信託報酬 | <p>純資産総額の年0.945%(税抜 年0.90%)</p> <p>委託会社は、上記の基本報酬に加えて、毎営業日に、当該営業日の成功報酬額控除前基準価額がその時点のハイ・ウォーターマークを超えた場合には、その超過額に20%を乗じて得た額(円未満は切り捨てるものとします。なお、消費税等相当額が別途かかります。)に、当該営業日の受益権口数を乗じて得た額とします。ハイ・ウォーターマークは過去の成功報酬計上時のハイ・ウォーターマーク(設定当初は1万円)に円短期金利を日割り計上した額を加算して決定されます。</p> <p>円短期金利は、毎営業日(この信託の当初設定日前日を含みます。)において入手しうる、ロンドンにおいて公表された1ヵ月円LIBORの直近値とし、当該営業日の翌日以降適用するものとします。なお、当該円短期金利の下限は零とします。</p> |
| 信託財産留保額 | 基準価額の0.1% |